

認知症になっても安心して暮らせるまち熱田



絵画作品募集


先着50名に
すてきな記念品
プレゼント!

9月は
世界アルツハイマー
月間です

認知症 ってなあに?



対象：熱田区内在住もしくはは在学の小学生

募集作品 (応募条件)	<ol style="list-style-type: none"> ① 所定の応募用紙を使用(応募は1人1点まで)。 ② 画材(絵具・クレヨン・ペン・色鉛筆等)の指定はありません。 ③ 絵の中に「ロバ隊長」か「オレンジリング」をいれること。
応募方法	<p>右にある二次元コードから、所定の応募用紙をA4で印刷し、絵画作成。 完成した作品を①②いずれかの方法で応募してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 熱田区いきいき支援センターへ郵送か持参 ② 完成した作品を写真に撮り右の二次元コードを読み込み作品をアップロード  <p>二次元コード</p>
募集期限	<p>令和8年8月31日(月)</p>
その他	<ol style="list-style-type: none"> ① 応募いただいた作品は熱田区役所1階通路(9/10~9/30)、熱田図書館(10/1~10/15)、熱田区認知症講演会(区役所7階講堂)(10/21)にて展示します。 ② 応募作品は、A4サイズで展示します。作品の状態(画質・傾き・掲載内容等)により、掲示作品を選定させていただく場合があります。応募作品は返却できません。 ③ 記念品は後日郵送します。

熱田区地域包括ケア推進会議「認知症専門部会」

お問い合わせ
月~金(祝日除く) 9時~17時

熱田区いきいき支援センター
熱田区神宮 3-1-15 区役所等複合施設 6階
電話：671-3195 FAX：671-1155

熱田区いきいき支援センター分室
熱田区大宝 3-6-26 シャンボール日比野 1階
電話：682-2522 FAX：682-2505

認知症ってなあに?



※ 65歳未満で発症する認知症…若年性認知症

夏休み
親子認知症サポーター
養成講座を開催します
参加無料
オレンジリングがもらえる!

令和8年8月4日(火)
10:30~12:00

認知症の人のことを知って、あなたも認知症キッズサポーターになろう!
認知症の寸劇や絵本の読み聞かせがあるよ。講座に参加すると認知症サポーターの証のオレンジリングがもらえるよ。

場所
熱田区神宮三丁目 1-15
熱田区役所等複合施設 6階研修室

対象
小学生とその保護者 先着 10組

申し込み
7/13(月) 9:00~7/28(火) 先着
順受付。下記の申し込みフォームから
お申し込みください。



問い合わせ
熱田区いきいき支援センター
TEL: 671-3195 FAX: 671-1155

認知症サポーターとは
認知症の人の「おうえん者」です。特別なことをする人ではなく、認知症について正しく理解し、認知症の人を、温かい目で見守る人のことです。熱田区では毎年300名を超える人が講座を受講されています。

保護者の方へ
認知症は誰にでも起こりうる脳の機能障害です。そのため認知症について興味を持つこと、認知症について理解を深めることが大切です。
この機会に、ぜひ、親子で認知症について学んでみませんか?

絵をかくときのルール **「ロバ隊長」** または **「オレンジリング」** を絵の中に入れてください。色は**オレンジ**。



<ロバ隊長ってなあに？>

認知症の人を見守り、支えるサポーターの隊長として、急がず、
一步一步着実に進むロバがマスコットキャラクターです。



<オレンジリングってなあに？>

認知症サポーター養成講座に
参加し、認知症について学んだ
人が持っています。



なんでオレンジ色なの？

オレンジ色には「**手助けします**」の意味があります。



<一言メッセージ>

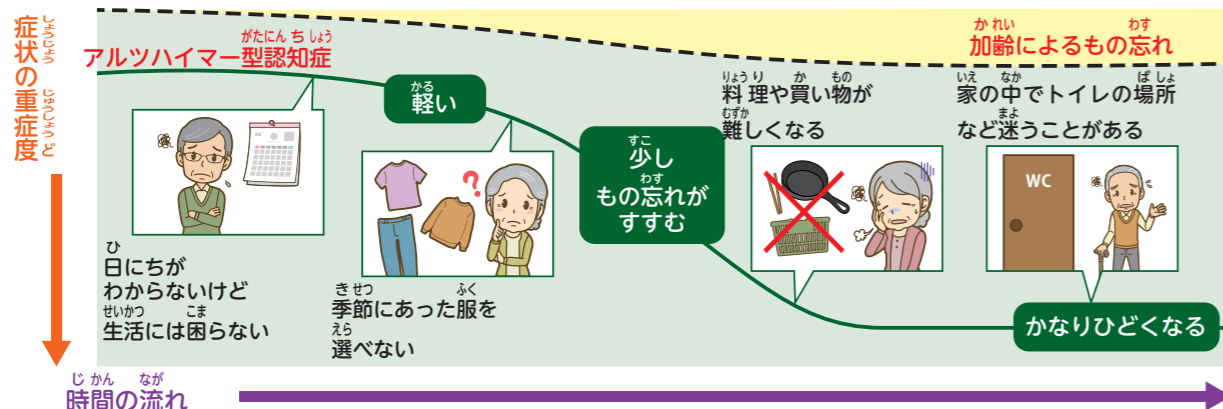
絵の中にメッセージを書いてください。

認知症ってなあに？

認知症はだれにでもおこるかもしれない脳の病気（症状）です。とくに、年をとると「認知症」になりやすくなります。日にちや場所がわからなくなることもありますが、ちょっとした手助けがあれば、今まで通り生活ができます。

やさしく声をかけたり、お手伝いしたりする人がたくさんいれば、認知症になっても安心して暮らしていくことができます。

アルツハイマー型認知症は、**症状が徐々にすすんでいくのが特徴**です。



具体的な対応の7つのポイント

1. 相手に目線を合わせてやさしい言葉で

相手の背の高さに合わせて、目線を同じ高さにして話そう

2. おだやかに、はっきりした話し方で

高齢者は耳が聞こえにくい人が多いです。ゆっくり、はっきり話すようにしましょう。早口や大声・甲高い声で一方的に話さないこと。

3. 相手の言葉をしっかり聴いてゆっくり対応する

認知症の人は急がされるのが苦手です。また、同時に2つ以上の質問に答えることも苦手です。相手の様子をみながら話をしましょう。相手の言葉をゆっくり聴き、何に困っているのか確認します。

～ここから下の対応は、家族の人や大人の人に相談してからにしましょう～

4. まずは見守る

認知症の人と思われる人に気づいたら、少し離れて、さりげなく見守ります。

5. 余裕をもって対応する

こちらが困っていたり焦っていると相手にも伝わります。自然な笑顔で応じましょう。

6. 声をかけるときは少人数で

たくさんの人で取り囲むと怖い気持ちが起こります。できるだけ少人数で声をかけましょう。

7. 後ろから声をかけない

少し距離をとって、相手が気づいたところで声をかけます。急に声をかけるのはやめましょう。「何かお困りですか」「お手伝いしましょうか」などの声をかけましょう。

自分がしてもらってうれしいと思うことを相手にもしてあげよう！
認知症の人もみんなと一緒にだよ。



※学校名、名前を記入してください。展示するときは、折り曲げて見えないようにします。絵の中のおなまえの欄は記載自由です。

おう ぼ よう し
応募用紙

しょう がっ こう
小学校

ねん
年

な まえ
名前

にん ちしょう
認知症になっても
あんしん く
安心して暮らせる

あったかいまち
あつた
熱田

ひとこと
一言メッセージ

にんちしょう あんしん まち ひとことか
認知症になっても安心な街ってどんなイメージ？一言書いてみてネ！

おなまえ

小学校 年